

# 静養館だより

発行・編集

社会福祉法人 鎌倉静養館

〒248-0014

鎌倉市由比ガ浜4-4-30

TEL 0467-22-8021

FAX 0467-22-8053

## 特養30周年記念の年に想う

理事長 西崎猛之

特養30周年に際し、記念誌の発行の準備を進めています。設立の意義とその熱き志しを確認したいとスタッフが鎌倉中央図書館に通って、当時の新聞記事を探しました。

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の各紙の湘南版に特養鎌倉静養館の開所式 - 1983年(昭和58年)5月10日 - を伝える記事を見つけました。《鎌倉市由比ガ浜、海浜公園北側に通常の入所者のほかに地域のお年寄りも利用できる施設(一時入所サービス及び通所サービス)を建設当初から合わせて備えた「地域開放」の県下初の都市型特別養護老人ホームが完成、鎌倉市は県下でも最も高齢化の進んだ都市の1つで、寝たきりのお年寄りも推定約300人と多く、これらのお年寄りの在宅福祉の充実を望む声も強い》と報じていました。鎌倉市では、県立七里ガ浜ホームに続く、2番目の特別養護老人ホームの設立として、鎌倉静養館が期待されているのが分ります。

さて、その設立の2年前、1981年(昭和56年)8月の広報紙《静養館だより第6号》の巻頭言で理事(後に理事長)本村範夫さんが「特養鎌倉静養館の建設計画」として次のように述べています。(軽費老人ホームで)「…先日、8月の誕生会の祝詞の中で施設長が『4年半の間、願い続けてきた特養建設計画が漸く実現できる見通しを得た…』と述べたとき、お年寄りから『うあー』という感嘆の声と感謝の言葉があがりました。それはまことに印象深い情景でした。何故なら、『身寄りのないお年寄りが抱いている先行きの不安を解消し、また終わりまで見て差し上げたい』との熱い思いが私たちが立ち上がらせたのですから。鎌倉市の人口は17万3千人余で、うち約1割が65歳以上です。鎌倉市は神奈川県の中でこの割合が最も高い。…そしてこの時点で計画が決定できたのは偏に鎌倉市の積極的なご支援によります。感謝にたえない処であります。…」

そして、今は、鎌倉市の人口 - 2013年(平成25年)4月現在 - は17万8千人で、高齢化率(65歳以上)は28.8%です。30年前と比較すると、人口は5千人増えましたが、65歳以上の方々がほぼ3割となり、超高齢社会になりました。特別養護老人ホームは2施設から9施設となり、来年度は10施設になって、鎌倉市の介護サービスの基盤整備が整ってきています。

このような経過の状況の中で設立30年となった特養鎌倉静養館は次への先駆的な取り組みをしていかなければと考えています。そして、鎌倉静養館の法人全体として、高齢者の方々が住み慣れた地域での生活が続けられるよう、見守り支え合う地域づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

### 《ボランティア感謝の集い》 -ご案内-

ボランティアの皆様へ、心から感謝し、下記のように「ボランティア感謝の集い」を開催いたします。是非、皆様の多数のご出席をお待ちしております。

日時: 2013年12月5日(木) 13:30~16:00 場所: 鎌倉市福祉センター 2階ホール

第1部 クリスマス礼拝

第2部 感謝の集い・音楽のプレゼント(玉川アルプホルンクラブの演奏)

・感謝のプレゼント贈呈 ・お茶の会

鎌倉静養館・ボランティア委員会

## 地域包括支援センター鎌倉静養館 開設1年を迎えて

地域包括支援センター鎌倉静養館は、鎌倉市社会福祉協議会地域包括支援センターから分離し、旧鎌倉地域を担当するかたちで平成24年6月1日に開所し1年が過ぎました。この1年間は、社会福祉協議会との引継ぎ及び対応、自治会・民生委員の方々への周知活動を中心に、地域の高齢者や高齢者を取りまご家族への支援を行ってきました。1年を過ぎた頃から自治会・民生委員の方々との連携も少しずつ構築され、相談件数も日を追うごとに増えて参りました。

地域のニーズもいろいろで、「地域包括支援センターです。」というより「鎌倉静養館です。」と言った方が分かり易く、対応してくれますので、鎌倉静養館とともに「よろず相談」の受けたまわり場所として、地域の拠点となるよう努めて参ります。

◇事業内容 総合相談・支援 権利擁護・虐待防止・早期発見  
暮らし易い地域のためのネットワークづくり

◇連絡先 地域包括支援センター鎌倉静養館 TEL:0467-23-9110  
(特養鎌倉静養館 別館内)



家族介護教室の様子

### 鎌倉市社会福祉協議会主催 『鎌倉福祉まつり』に参加しました。

9月1日(日) 於：鎌倉市福祉センター

軽費(稲村ガ崎)は、絵画教室の水彩画、手芸の会の刺繍の作品を出品し、特養(由比ヶ浜)は書道の書を展示しました。軽費では、97歳の女性が刺繍と水彩画を、特養では、103歳の女性が出品し、皆様に感動を与えていました。



作品の前で記念撮影(軽費)



作品の前で記念撮影(特養)

### 外部評価受審を修了しました 材木座あじさいの家

地域密着型サービスについて、外部評価機関による外部評価が修了し、8月30日付で終了証を受理しました。今後も柔軟なサービスを続け、より地域にとけ込んで地域の社会資源として認知されるよう努めてまいります。



#### 法人からのお知らせ 一 役員の改選 -

・9月27日(金)開催の評議員会において、任期満了による理事の選任(7名、任期2年)が議され、理事長より委嘱されました。(順不同)

伊藤紘一、小見山浩美、背山静子、塚越敏夫、長野邦子、西崎猛之、森研四郎 以上重任  
また、監事2名が選任されました。 瀬名浩一(重任)、齊藤学(新任)

・9月27日(金)開催の理事会において、任期満了に伴う理事長に、西崎猛之(重任)が選ばれました。

#### 一 編集後記 -

暑い夏が過ぎて、といっても9月は暑い日々が続きました。敬老の日の当日 台風17号の通過により鎌倉も風雨が強まり、警戒態勢のために、恒例の副市長様のお祝いの来館がなく、残念でした。